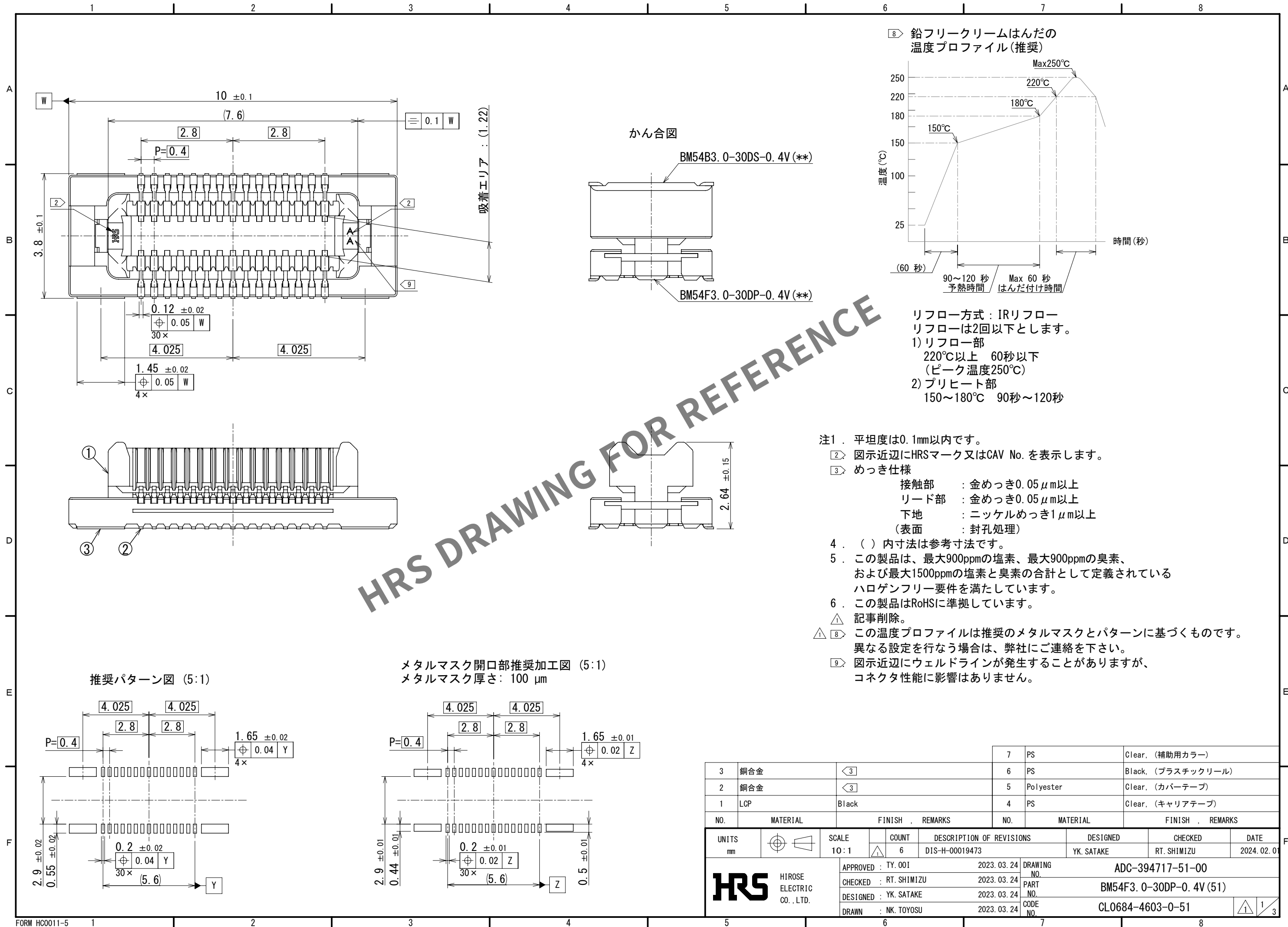
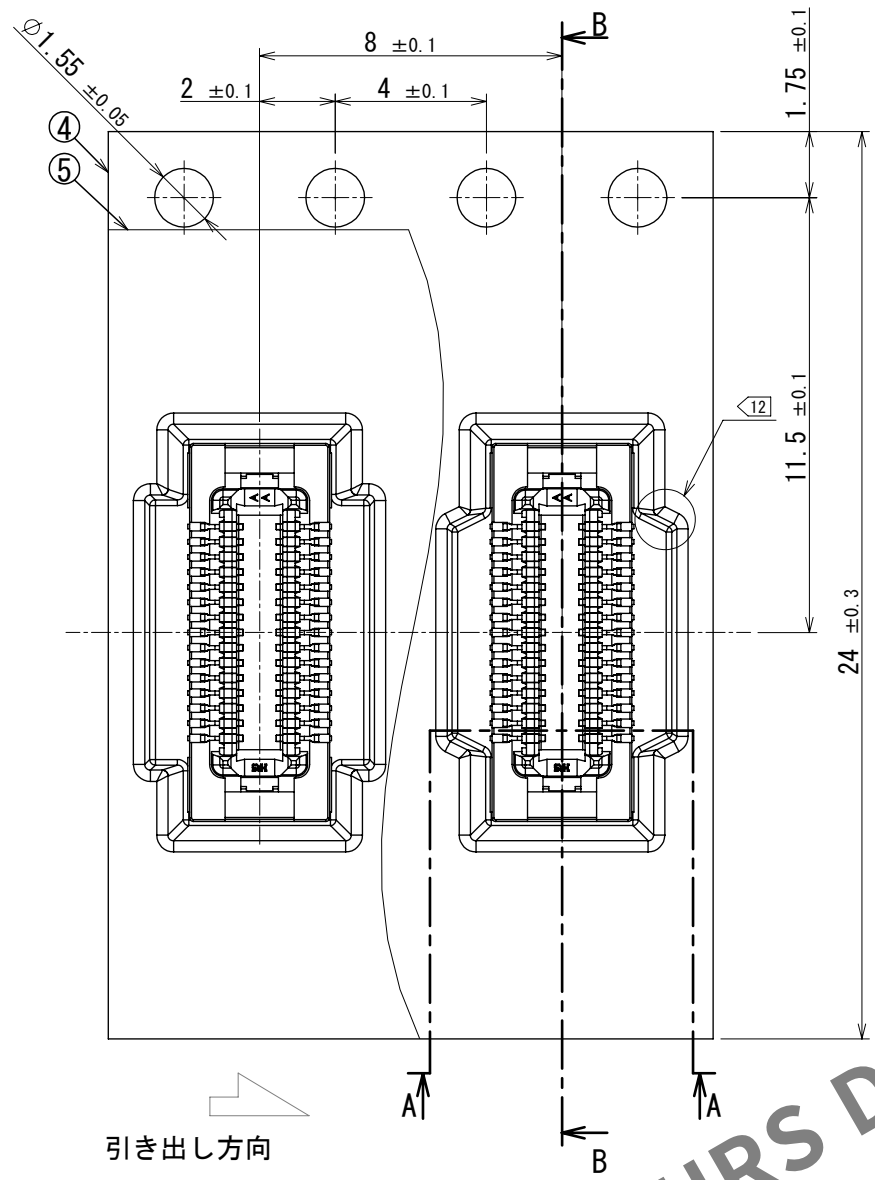


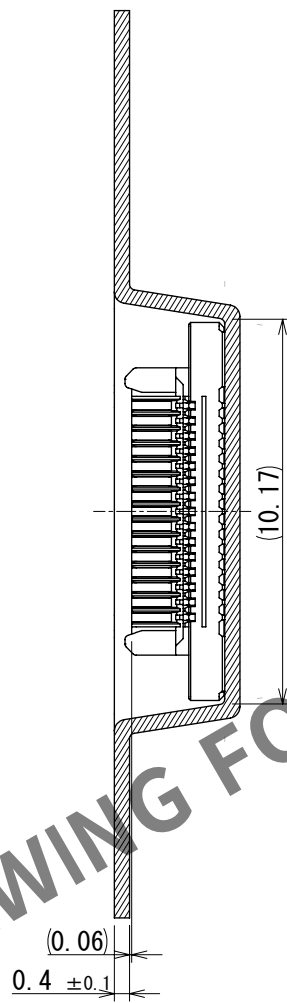


May.1.2024 Copyright 2024 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.
本製品を車載用途などの高い信頼性が求められる機器にご使用の場合は、弊社までお問合せ下さい。

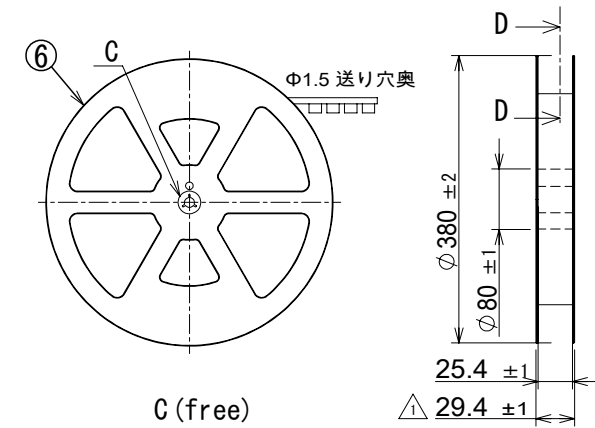
エンボスキャリアテープ (5:1)



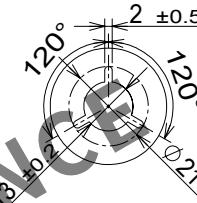
B-B
(5 : 1)



リール形状および寸法 (free)



C (free)



テープ止め

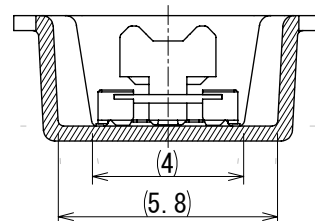
補強用カラー

エンボスポケット

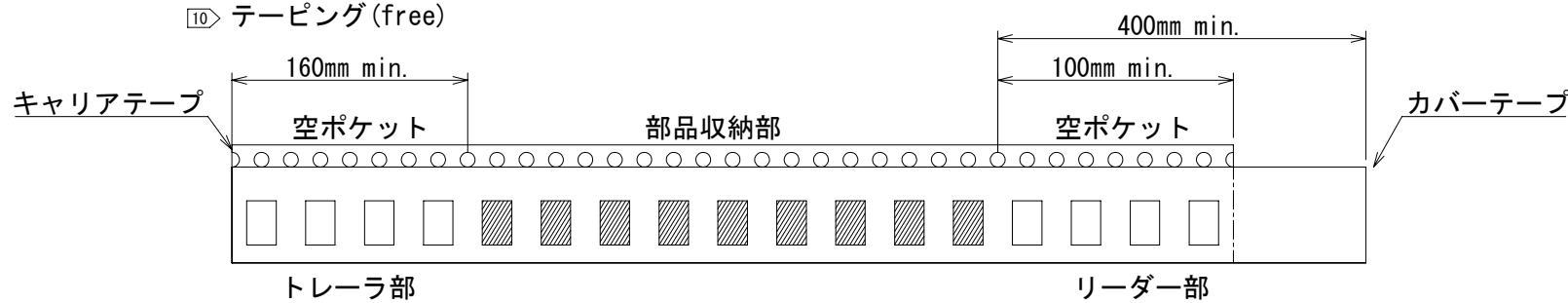
9 . 1リール3,000個巻です。

- △ 10 JIS C 0806 (IEC 60286-3)に基づいています。(自動実装用部品のパッケージング)
△ 11 補強用カラーはエンボステープの外周に巻き付けられ、終端部はテープで留められます。
△ 12 エンボスポケット形状が異なる場合があります。

A-A
(5 : 1)



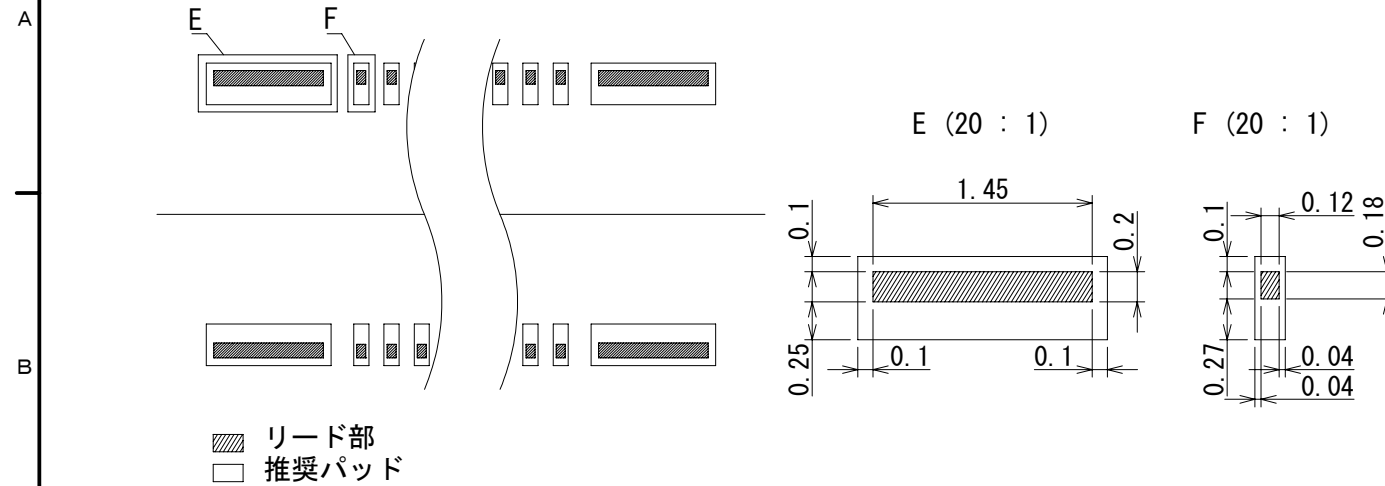
10 テーピング (free)



HRS	DRAWING NO.	ADC-394717-51-00
	PART NO.	BM54F3. 0-30DP-0. 4V (51)
	CODE NO.	CL0684-4603-0-51
	NO.	2/3

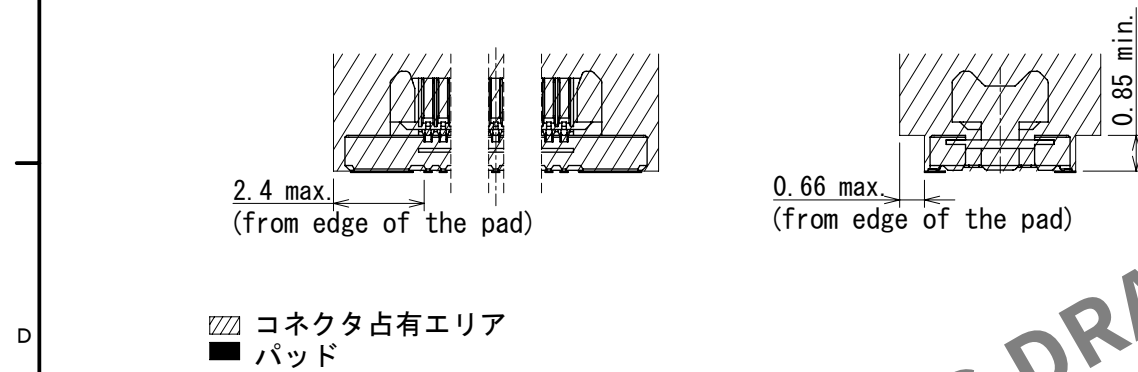
△14. 操作の詳細に関してはガイドラインを参照ください。

リードと推奨パッドの位置関係に関して



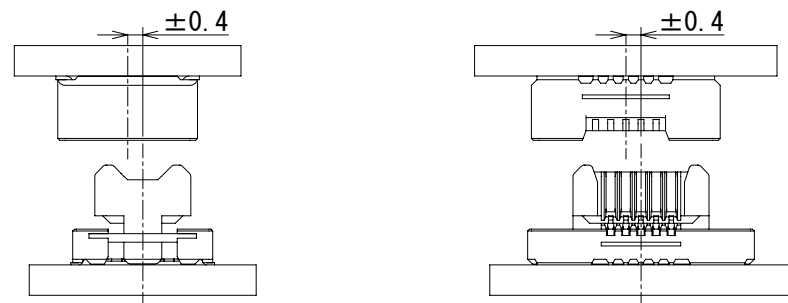
コネクタ占有エリアに関して

- (1) 斜線のエリア内に他部品があるとフローティング性能に影響を及ぼす可能性があります。



コネクタの嵌合方法に関して

- (1) 誘い込み寸法はX軸方向、Y軸方向に±0.4mmです。
かん合開始後は誘い込みに沿って、コネクタに無理な負荷をかけずに
基板に対して垂直にかん合してください。



位置ズレ許容量(フローティング可動量)に関して

- (1) 本コネクタはフローティング構造のため、かん合した状態でX軸方向、Y軸方向に±0.4mm
基板位置ズレ許容量があります。
ただし、振動等によって常に位置ズレ量が増える場合の吸収には適合できません。
なお、フローティング可動操作の繰り返し回数は10回以下となります。

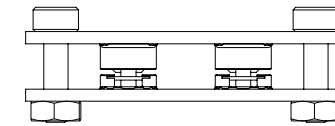


基板同士の固定に関して

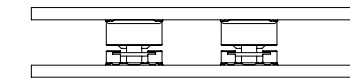
- (1) 本コネクタは基板同士の位置ズレを吸収することは可能ですが、振動を吸収することはできません。
固定対策を行わずにコネクタのみで基板を支えた場合、コネクタに過度の負荷がかかり、
破損や接触不良の原因となる恐れがあります。必ず下図のようにコネクタ以外で、
基板を動かさないように固定してください。また、本コネクタは基板と基板を接続するコネクタです。
FPCに実装して使用する際は、基板とFPCをそれぞれ筐体に固定して使用してください。



スペーサーや筐体による基板固定

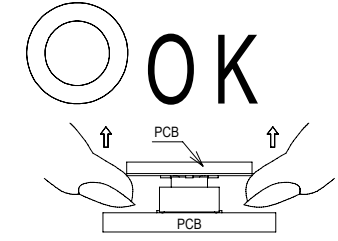
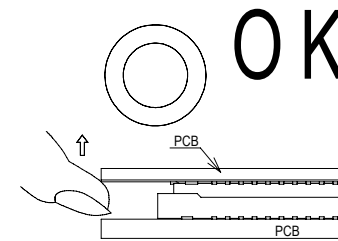


基板同士を固定しない状態で
使用しないでください



コネクタの取り外し方法に関して

- (1) コネクタを抜く際は、平行に抜いてください。



- (2) 傾いた状態で抜去しますとコネクタが変形する恐れがあります。

